

# かさおか



## 旅立ちの日!



3月12日、体育館で第74回卒業証書授与式が行われ卒業生80名(男子44名、女子36名)が思い出の学びやを巣立ちました。

### 笠岡市立笠岡小学校

\*\*\*\*\*

3月19日、体育館で卒業証書授与式が行われ、卒業生32名(男子25名、女子7名)が6年間の思い出が詰まった学びやを巣立ちました。



新型コロナウイルスの感染防止のため、今年も卒業生・保護者・教職員のみの式典になりましたが、心のこもった温かい卒業式でした。

### 4月の 行事予定



- 4月14日(水) 14:00～  
令和2年度出納検査を予定
- 4月14日(水) 18:30～  
地域担当職員との会議を開催予定

#### — 学 校 行 事 —

- ☆4月8日(木)笠岡小学校入学式
- ☆4月9日(金)笠岡西中学校入学式

### 『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所: 笠岡市笠岡2627番地

「井戸会館」内

電話: 63-5949

Fax: 75-0101

E-mail: zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日: 月・水・金曜日の

14時～17時まで



—笠岡町の歴史Part 2— 今月号から広沢澄郎さんの「笠岡の地名」です。ご本人はご高齢で施設に入所しており、ご家族を通じて掲載のご了解を頂きましたので、地図や写真を入れながら馴染みやすくお届けします。

## 「笠岡の地名」その①

笠岡市笠岡〇〇番地 これが私たちの住所の正式な表現です。もとの笠岡町は笠岡と富岡の2つの大字から成り立ち、大字笠岡とは、古城山の南端から、北は追分の向こう、鍋山まで、直線コースで約一里(約4キロ)の間に多くの人が住んでいます。しかも町筋はタシケント(注)の旧市街のように、小路や横町、また迷路が入り組んでいます。そこで某々人の住所が単に大字笠岡だけで表現されるならば、限られた人しかわからない、といえましょう。

この不十分さを補うものとして、従来から三十幾つかの小字がありました。その中で、殿川町と川辺屋町は、長い町筋なので、殿川北と南、また川辺屋北と南に分けて町の人は呼んでいます。略して殿北、殿南及び川北、川南。

(注)タシケント:「石の町」という意味を持つウズベキスタンの首都。旧市街地と新市街地に分かれており、旧市街地は迷路のような道になっている。

### (一) 西 西

笠岡の西部は小高い竜王山脈の緑の岡である。その南端に、海に向かって突き出たのはカナザキ、カンザキ(金崎)または金ヶ崎と称される岬である。(金浦、かねのうら=歌=との関連をいう人もある)この海岸をくると大きく曲がって、道は金浦へ通じているが、山はだの岩をよくみると、一部に粘板岩が露出して、花こう岩の多いこの辺りでは特異な姿容をとっている。笠岡粘土会社の裏、少し高い所、小道(旧道)のついているわきに「白岩地蔵」がまつってあるのも、近ごろできた「白岩稲荷」があるのもこの灰白色の水成岩にちなみがあるのではなからうか。前者は天明三年(1783年=そのころ海岸道路が造られた?)六月、笠岡の伏見屋栄助が建ったが、昭和七年ゆえあって吉浜の迫(さこ)に移し、同六月十九日 元へかえしたと石に刻んでいる。

(注)特殊な石をたたけば、カンカンと音がするから金(かね)。崎は先の意味。岡のはな(岬・碕)にもあてはまる。

金崎の北、トンネルの線路を越すと西本町(西西はその地域名)の領分へ入る。すぐ山がかった所は、かつて「岡」と呼ばれ、集落があった。昔の海べりが岡の浜、出た小山が小太郎山である。小太郎の石碑は、丘の一番上にある畑のそばに残り、それには地蔵らしきものが刻まれている。(小太郎は幼名、江戸期? 武士ともいう)

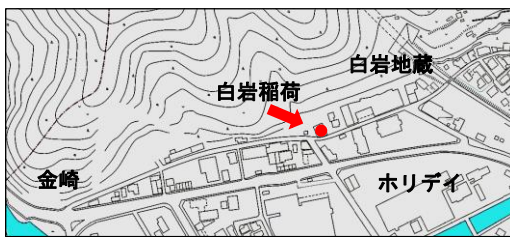
さて、ふもとには勧善寺跡、埴和氏、榎屋の墓があり、小川の流れの、少し奥に白髪様がまつてある。これは高野山の奥にあったのを分祀したといい、願望のかなう神様(祭日旧三月節句、江戸期から)かつてはエノキ、松が生い茂り、こんもりしていたといわれる。またそばに笠岡に三つあるものの一つである薬師もある。

※勧(観)善寺は安永年中、僧真誓の建立と郡誌類に書いてあり、文政四年、笠岡村良天の石碑がある。山門(石屋の前)庫裏はなくなり、再建の六畳の堂があるに過ぎない。西方に行き倒れ人の墓など。今は玄忠寺の管理下。ここまで海だった。



明治28年頃の写真(笠岡市提供)

山陽鉄道・単線



白岩稲荷

桜花爛漫の好季節を迎えました。コロナ禍と言えど災害に待ったはありません。くらし部会が取り組んできた防災マップが出来上がりましたので、今月の会報と一緒にお届けします。「防災意識は自分事」各ご家庭で活用ください。

### 編集後記

I・M



「春の交通安全 市民運動」  
「思いやり ゆとりは無事故へつづく道」  
をスローガンに4月6日(火)～15日(木)まで春の交通安全市民運動が展開されます。交通安全ルールをよく守って事故のない明るい地域づくりにご協力をお願いいたします。

